

令和9年度

総合型選抜学生募集要項

出願期間（インターネット出願）

令和8年9月1日（火）～9月4日（金）[出願書類必着]

人 文 学 部
教 育 学 部
経 済 学 部
理 学 部
工 学 部
情 報 学 部
国際総合科学部

山 口 大 学

出願や入学試験に関する重要な情報・お知らせ等はホームページでお知らせしますので、
出願前や受験前は特に確認してください。

山口大学ホームページ（入試関連情報）
<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/nyushi/>



目 次

I. アドミッション・ポリシー

1. 山口大学のアドミッション・ポリシー	1
2. 総合型選抜で求める学生	4

II. 募 集 要 項

1. 日 程 概 要	8
2. 募 集 人 員	9
3. 出 願 資 格	10
4. 出 願 手 続	
(1) 出 願 方 法	10
(2) 出 願 期 間	11
(3) 出 願 書 類 等	12
(4) 出 願 書 類 の 郵 送 先	14
(5) 受 験 票 の 印 刷	14
(6) 個 人 情 報 の 利 用 に つ い て	16
5. 入 学 者 選 抜 方 法 等	
(1) 配 点 基 準 一 覧	17
(2) 第 1 次 選 抜	18
(3) 第 2 次 選 抜	20
(4) 障 害 等 の あ る 入 学 志 願 者 と の 事 前 相 談 に つ い て	25
6. 個 別 の 入 学 資 格 審 査	27
7. 教 員 免 許 資 格 の 取 得 を 検 討 さ れ て い る 方 へ	28
8. 合 格 発 表	28
9. 入 学 手 続	28
10. 入 学 時 に 要 す る 経 費	29
11. 入 学 準 備	30
12. そ の 他	30
入 試 成 績 の 情 報 開 示	31
入 学 料 及 び 授 業 料 の 免 除 制 度	31
山 口 大 学 基 金 七 村 奨 学 金	32
大 規 模 自 然 災 害 に よ り 被 災 し た 志 願 者 の 検 定 料 の 免 除	32
学 生 寮 及 び ア パ ー ト 等	32
問 い 合 わ せ 窓 口	34

(参考) [提出書式 (見本)] 志望理由書、自己アピール書、活動実績報告書

交通のご案内 [吉田キャンパス：人文・教育・経済・理・国際総合科学部]

[常盤キャンパス：工・情報学部]

I. アドミッション・ポリシー

1. 山口大学のアドミッション・ポリシー

山口大学は、「山口大学憲章」に掲げる基本理念に基づき、学士課程のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）及びカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）を定め、「発見し、はぐくみ、かたちにする」を実践し、地域、日本、世界に寄与できる人材の育成を目指します。そのために、次のような学生の入学を求めています。

「求める学生像」

- 〔1〕「発見し、はぐくみ、かたちにする」を実現できる基礎的な知識・技能や思考力・判断力をもつ人
 - 〔2〕専門的な知識・技能の修得に向けて、学ぶ意欲や好奇心が旺盛で、チャレンジ精神のある人
 - 〔3〕多様な価値観のなかで、他者に自分の考えや意見を論理的に説明できる人
 - 〔4〕明確な目的意識をもち、高い目標を掲げて努力してきたことを積極的に伝えることができる人
- このような学生を受け入れるために、学部の募集単位ごとに多様な入学選抜を実施します。

「入学選抜の基本方針」

山口大学の教育を受けるにふさわしい能力・適性を備えた入学選抜を受け入れるために、学力の3要素をふまえて評価する入試を実施します。入試ごとに学力の3要素の中で重視する部分を設定して多様な入試を適切な方法で実施し、多面的・総合的に選抜します。

一般選抜の前期日程では、高等学校で履修した教科の幅広い基礎学力を大学入学共通テストで評価するとともに、本学での学修に適合する知識・技能を重視し、教科試験を中心として学力を測る個別テストを行い、総合的に審査します。

一般選抜の後期日程では、高等学校で履修した教科の幅広い基礎学力を大学入学共通テストで評価するとともに、本学での学修に適合する知識・技能だけでなく、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度・協働性などを幅広く測る小論文、面接などの個別テスト等を行い、総合的に審査します。

総合型選抜では、出願書類や講義等理解力試験、面接を用いて、学部・学科が求める基礎的な学力や知識・技能、思考力・判断力・表現力や主体的に学習に取り組む態度・協働性などを評価し、総合的に審査します。

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）では、出願書類、小論文、総合問題、面接を用いて基礎学力や学部・学科等が求める知識・技能を測るとともに、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度・協働性などを評価し、総合的に審査します。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）では、高等学校で履修した教科の幅広い基礎学力を大学入学共通テストで評価するとともに、小論文で思考力・判断力・表現力などを評価し、面接試験や出願書類の内容によって人間性や主体的に学習に取り組む態度・協働性などを評価し、総合的に審査します。

その他の特別入試では、多様な背景を持つ人材をそれぞれの特性に基づいて評価し、審査する入試を実施します。

各入学試験で重視するポイント

			基礎的な 学力	学部・学科等 が求める知 識・技能	思考力・ 判断力・ 表現力	主体的に学 習に取り組 む態度・協 働性など
一般選 抜	前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
		教科試験・実技	○	◎	○ ※10	
		小論文 ※1		◎	◎	◎
		面接 ※2		◎	◎	◎
		出願書類 ※3			◎	◎
	後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
		教科試験 ※4	○	◎	◎	
		小論文 ※5		◎	◎	◎
		総合問題 ※6		◎	◎	○
		面接 ※7		◎ ※10	◎	◎
総合型選 抜	出願書類		○	◎	◎	◎
	講義等理解力試験		◎	◎	◎	◎
	面接			◎	○	◎
学校推薦型選 抜 I	出願書類		◎	◎ ※12		◎ ※10
	小論文		○ ※11	◎ ※12	◎	◎ ※11
	総合問題 ※13		◎	◎	◎	
	面接 ※8			◎ ※10	◎	◎
学校推薦型選 抜 II	大学入学共通テスト		◎	○		
	出願書類			◎		◎
	小論文 ※9			◎	◎	
	面接			◎	◎	◎

◎：強く重視して評価する ○：重視して評価する

※1 教育学部の一部で行っています。

※2 教育学部の一部と医学部の一部で行っています。

※3 ひと・まち未来共創学環で行っています。

※4 理学部の一部で行っています。

※5 経済学部、医学部、国際総合科学部で行っています。

※6 工学部と情報学部で行っています。

※7 理学部の一部、人文学部、医学部、農学部、共同獣医学部、国際総合科学部、ひと・まち未来共創学環で行っています。

※8 教育学部の一部、理学部の一部、農学部、ひと・まち未来共創学環で行っています。

※9 医学部の一部と共同獣医学部で行っています。

※10 ひと・まち未来共創学環以外。

※11 ひと・まち未来共創学環のみ。

※12 ひと・まち未来共創学環は「○」となります。

※13 教育学部の一部と農学部で行っています。

各学部・学科等のディプロマ・ポリシーを達成するために必要な入学時の学力については、各学部・学科等のアドミSSION・ポリシーにおいて示します。

学部・学科等のアドミSSION・ポリシーは各学部等のホームページをご確認ください。

 【人文学部】 https://www.hmt.yamaguchi-u. ac.jp/	 【教育学部】 https://www.yamaguchi-u. ac.jp/edu/
 【経済学部】 https://www.yamaguchi-u. ac.jp/econo/	 【理学部】 https://www.yamaguchi-u. ac.jp/sci/
 【工学部】 https://www.yamaguchi-u. ac.jp/eng/	 【情報学部】 https://www.yamaguchi-u. ac.jp/informatics/
 【国際総合科学部】 https://www.yamaguchi-u. ac.jp/gss/	

2. 総合型選抜で求める学生

(1) 総合型選抜について

山口大学は、平成13年度にアドミッションセンターを設置し、平成14年度入学者選抜から総合型選抜の前身であるAO入試を行っています。総合型選抜は従来の筆記試験中心の選抜方法では見出せなかった資質を、さまざまな観点から総合的に評価しようとする入試です。

選抜試験においては、大学及び各学部・学科・コースの「アドミッション・ポリシー、総合型選抜で求める学生（入学者受け入れ方針）」に基づき、出願書類や講義等理解力試験、面接を用いて、学部・学科等が求める基礎的な学力や知識・技能、思考力・判断力・表現力や主体的に学習に取り組む態度・協働性などを評価し、総合的に審査します。

なお、合格が決定した入学予定者には、入学前指導が行われることになっています。内容は学部によって異なりますが、特に本学は英語のコミュニケーション能力育成に力を入れており、入学後は全員にTOEICの受験を課し、一定基準以上のスコアの取得を義務づけている学部もありますので、入学までに英語のコミュニケーション能力を高めておくことを全学部入学予定者に求めています。

(2) 本学が総合型選抜で求める学生

山口大学が総合型選抜で求める学生は、

- ①山口大学で勉強したいと強く希望する人
- ②自己アピールできるものを持っている人
- ③自分の考えや意見を論理的に説明できる人

上記①、②、③に加えて、各学部・学科等が総合型選抜で求める学生は次のとおりです。

人 文 学 部

人間や文化について興味がある人

例えば、

- ①立ちどまって哲学的に考えてみたい人
- ②歴史が好きな人
- ③芸術が好きな人
- ④文学が好きな人
- ⑤とにかく本が好きな人
- ⑥異文化に強い関心を持つ人
- ⑦コトバや論理に興味がある人
- ⑧現代社会について好奇心が旺盛で、行動力がある人

高い英語能力を有する人

例えば、

- ①英検2級以上を取得している人
- ②TOEIC500点以上のスコアを持っている人

教 育 学 部

【学校教育教員養成課程 小学校教育コース 小学校総合選修】

- ①さまざまな側面から子どもを共感的に理解し、共に成長しようとする人
- ②小学校教育に強い意欲を持ち、人や社会、自然や文化と触れ合うことで自分の考えを深めていこうとする人
- ③広い視野で学校教育の問題を考え、さまざまな人と協力しながら課題解決を図ろうとする人
- ④自他を尊重し、ボランティア活動等を通して進んで地域や社会に貢献しようとする人

経 済 学 部

リーダーシップにあふれ、経済・社会について強い関心がある人
中でも、

- ①集団をまとめるような経験をしたことがある人
- ②入学目的が具体的かつ明確な人
- ③卒業後の進路が明確な人
- ④学習意欲が旺盛でチャレンジ精神がある人
- ⑤これだけは誰にも負けないという何かがある人
- ⑥理解力・表現力に優れ、人前でも堂々と自分の意見を言える人

理 学 部

【物理・情報科学科】

物理・情報科学科では、物理学、情報科学やこれらの学際的分野の学習及び思索を通して科学的素養を身につけ、柔軟性に富んだ発想力及び思考力を培い、広い視点をもって、社会で活躍できる人物を育成しています。その目的に沿って、物理学や情報科学に強い興味を持ち、大学で本格的にこれらを勉学する意志のある以下の要件を満たす学生を求めています。

- ①数学、理科（物理）の基礎学力を有する人
- ②物理学、あるいは、コンピュータや数学が好きな人
- ③忍耐強く勉学に励み、論理的に思考することが好きな人
- ④幅広く学び理数の基礎を身につけ、新しいことに挑戦したい人

【化学科】

化学科では、物質の変化や性質を、原子や分子のレベルで論理的に考えることができ、化学の専門家として社会で活躍できる人物を育成しています。その目的に沿って、以下の要件を満たす学生を求めています。

- ①数学、理科（特に化学）、英語の基礎学力を有する人
- ②化学が好きで、最先端の化学を積極的に理解する志が高い人
- ③身につけた知識を論理的に説明できる人

【地球圏システム科学科】

地球圏システム科学科では、地球科学に関する専門知識を学び、地球スケールの時空間で物事を考える力を身につけ、防災・資源・エネルギー・環境など幅広い分野で活躍できる人物を育成しています。地球と自然とに強い興味を持ち、大学で本格的にこれらを勉学する意思があり、かつ基礎学力を有し、以下の要件のいずれかを満たす学生を求めています。

- ①理科が好きな人、クラブ活動などでの理科研究の経験のある人、あるいは科学オリンピックに参加した経験のある人
- ②地球科学をベースに、学際的な新しい分野に立ち向かうチャレンジ精神のある人
- ③将来、地球科学に関わる研究者・技術者・公務員などとして社会に貢献したい人や自然科学の教育分野で活躍したい人

工 学 部

【創成工学科】

本学科は、以下の項目の要件を兼ね備えた人を求めています。

- ①数学、理科、英語に関する基礎学力を備えた人
- ②自然科学に対して広く興味を持ち、機械系、国土・環境デザイン系、化学系、電気電子系のいずれかの工学分野に対して強い興味と学ぶ意欲を持つ人
- ③積極性とチャレンジ精神を持ち、地域社会・国際社会に貢献する意欲がある人
- ④取り組むべき課題を論理的に理解・分析でき、多様な人々と協働して新しい価値の創造に取り組む意欲がある人

【建築学科】

本学科は、以下の項目の要件を備えた人を求めています。

- ①美術やデザインに関する創造活動を経験したことがあるなど、建築設計やデザインに関する関心が高い人
- ②建築学に関する幅広い専門知識を習得して、社会や自然環境に及ぼす建築の影響を理解しつつ社会の要求に応えるエキスパートを目指す人
- ③人に自分の意見や感情を分かり易く説明でき、協調して問題解決ができる人

情 報 学 部

【情報学科】

本学科は、情報専門技術に関する知識と技能、学際的な素養と人間中心の視点を備え、新たな社会課題を発見し、先進的な情報処理技術と複眼的視野で課題解決や価値創造に挑戦する強い意欲と思考力を有する先端IT人材の育成を目指します。こうした人材育成目標に基づき、本学科では専門的な学修に必要な基礎学力、特に高校程度の数学、情報、及び英語に関する十分な学力を有し、かつ、次のいずれか一つ以上に当てはまる人の入学を期待します。

- ①情報科学、データ科学及びその関連技術に強い興味を持ち、自ら学びを深めることに強い意欲のある人
- ②基礎的な科学的思考力、判断力、表現力を有し、情報専門技術を身に付けて、豊かな地域社会、国際社会の実現に貢献したいと考える人
- ③情報処理技術を用いて自主的にアプリ制作等をしたことがある人の場合、その動機、どのような機能を実現したか、所期の目的を達したかどうか、制作に要した時間など、具体例を挙げながら他人に伝えることができる人
- ④その他、今までに遭遇した困難な課題、または創造活動の事例について、並びにその課題解決や創造活動の際にとった自分の行動、人との協力、その結果や成果について、具体例を挙げながら他人に分かりやすく説明できる人

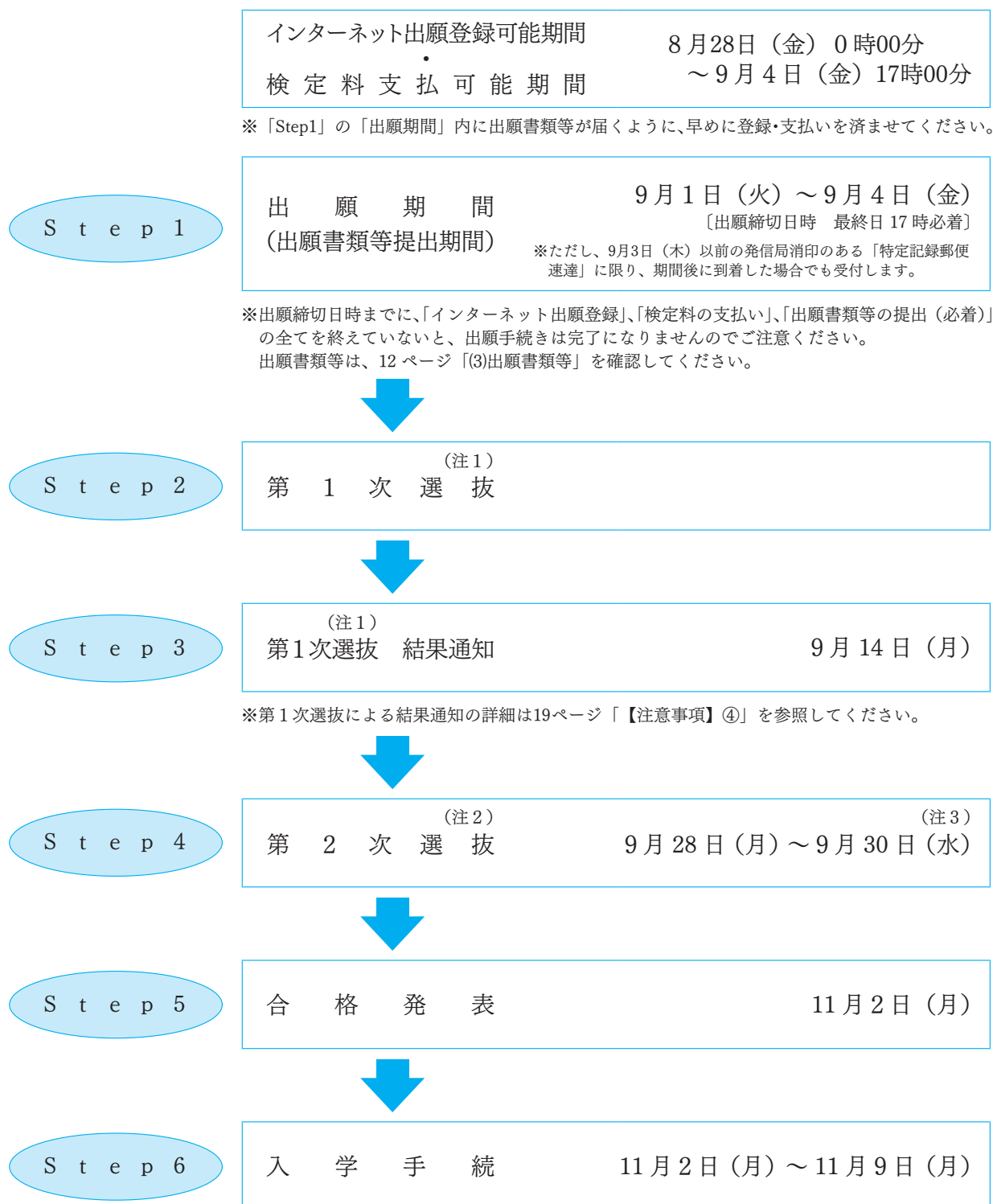
国際総合科学部

- ①積極的に海外に出て、多様な背景を持つ人たちと交流し、国際的な視野を得ようという意欲を持つ人
- ②高い英語能力を持つ人で、リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの4技能すべてに優れている人
- ③さまざまな人と協力しながら、社会が抱える課題を解決しようとする志を持つ人

各学部・学科等の案内については、裏表紙に記載のホームページも参照してください。

Ⅱ. 募 集 要 項

1. 日 程 概 要



(注1) 第1次選抜は、志願者数が募集人員の3倍を超えた募集単位において実施します。

(注2) 第2次選抜は、学部・学科等によって実施日・試験会場が異なります。詳しくは、20 ページ「(3) 第2次選抜 ア. 第2次選抜の日程等」を参照してください。

(注3) 台風等のため、所定の日時に第2次選抜を実施できない場合は、10 月 10 日（土）～ 10 月 12 日（月・祝）の期間で試験を実施します。その場合は、本学ホームページなどで通知します。

(<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/nyushi/>)

2. 募 集 人 員

学 部	学 科 ・ 課 程 等		総合型選抜 募 集 人 員	
人 文 学 部	人 文 学 科		7	
教 育 学 部	学 校 教 育 教 員 養 成 課 程 (小学校教育コース小学校総合選修)		10	
経 済 学 部	経 済 学 科		30	
	経 営 学 科			
	観 光 政 策 学 科			
	計		30	
理 学 部	物 理 ・ 情 報 科 学 科		5	
	化 学 科		4	
	地 球 圏 シ ス テ ム 科 学 科		4	
	計		13	
工 学 部	創成工学科	機 械 系	32	6
		国 土 ・ 環 境 デ ザ イ ン 系		8
		化 学 系		10
		電 気 電 子 系		8
	建 築 学 科		3	
	計		35	
情 報 学 部	情 報 学 科		12	
国際総合科学部	国 際 総 合 科 学 科		10	
合 計			117	

(注) ・経済学部では学科ごとの募集人員を設けず、学部一括で募集を行います。

各学科には特定の分野をより深く学べるコースがあり、希望に応じて学科とともにコースへ所属することも可能です。

学科・コースへの配属は、入学後の希望調査と1年次前期の成績を考慮して決定し、2年次からそれぞれの所属となります。

- ・選抜の結果、合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は一般選抜（前期日程）の募集人員に加えます。

3. 出 願 資 格

総合型選抜に出願することができる者は、次のいずれかに該当する者で、合格した場合、入学を確約できる者としてします。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和 9 年 3 月卒業見込みの者
 - (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び令和 9 年 3 月修了見込みの者
 - (3) 学校教育法施行規則第 150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和 9 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者
 - ① 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（昭和 56 年文部省告示第 153 号）
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - ③ 文部科学大臣が指定する専修学校の高等課程を修了した者
 - ④ 文部科学大臣が指定した者
 - ア 外国の大学入学資格である国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、GCE A レベル資格、国際 A レベル資格、ヨーロッパ・バカロレア資格を保有する者（昭和 23 年文部省告示第 47 号第 20 号～第 23 号）
 - イ 国際的な評価団体（WASC、ACSI、NEASC、CIS、Cognia、COBIS）の認定を受けた教育施設の 12 年の課程を修了した者（昭和 23 年文部省告示第 47 号第 24 号）
 - ウ その他、昭和 23 年文部省告示第 47 号において高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者 ※ 1
- ※ 1 ④の資格で出願される場合は本学ホームページ（<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/nyushi/yoko/kaigainoshikaku/index.html>）の記載を確認してください。
- ⑤ 高等学校卒業程度認定試験（旧大検）に合格した者
 - ⑥ 学校教育法第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則による高等学校卒業程度認定審査に合格した者
 - ⑦ 学校教育法第 90 条第 2 項の規定により他の大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの ※ 2
- ※ 2 この出願資格で出願する場合は、令和 8 年 7 月 6 日（月）までに入試課（14 ページ「(4) 出願書類の郵送先」参照）に相談してください。
- ⑧ 大学において個別の入学資格審査により認めた 18 歳以上の者 ※ 3
- ※ 3 大学における個別の入学資格審査については、27 ページを参照してください。

4. 出 願 手 続

- (1) 出願方法

本学への出願登録はインターネット出願のみです。

山口大学インターネット出願サイト (Post@net) へアクセスし、出願登録を行ってください。

<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/nyushi/webentry/>

出願方法の詳細は上記 URL 内掲載の出願ガイドをご確認ください。



出願登録には、メールアドレスが必要です。出願登録完了時や検定料入金確認時、デジタル受験票発行案内のお知らせなどの自動送信メールや、本学からの連絡事項をお送りします。

メールの確認漏れ等により、志願者が不利益を被った場合には、本学は一切関知しません。また、メールアドレスの登録誤りや、メールを確認していないことを理由とした各種手続期間の延長は、一切認めません。

(2) 出願期間

① インターネット出願登録可能期間・検定料支払可能期間：

令和 8 年 8 月 28 日（金）0 時 00 分～9 月 4 日（金）17 時 00 分

※検定料 17,000 円に加え、別途手数料（680 円）が必要になります。

② 出願期間（出願書類等提出期間）：

令和 8 年 9 月 1 日（火）～9 月 4 日（金） **最終日 17 時 00 分 必着**

ただし、9 月 3 日（木）以前の発信局消印のある「特定記録郵便速達」に限り、期間後に到着した場合でも受付します。

なお、郵送手続きの際は、郵便局の窓口で「特定記録郵便物受領証」を必ず受領して、大切に保管しておいてください。出願書類の配送状況については、この「特定記録郵便物受領証」の番号を使用して、日本郵便のホームページ上で確認できます。

◆日本国外から出願書類を送付する場合

やむを得ず日本国外から直接送付する事情がある場合には、9 月 4 日（金）までに本学に必着するように「書留」「EMS」「DHL」「FedEx」等の郵便記録が残る方法のいずれかで送付してください。その際は必ず、E-mail 又は FAX で入試課へ下記の①～⑦を 9 月 3 日（木）17 時〔日本時間〕までにお知らせください。

[E-mail : nyushi@yamaguchi-u.ac.jp FAX : + 81-83-933-5041]

①志願者氏名 ②志願者カナ氏名 ③入試種別：総合型選抜 ④出願学部・学科等 ⑤連絡先（電話番号及びメールアドレス） ⑥出願書類発送日 ⑦住んでいる国・地域
メールのタイトルを【総合型選抜 海外から発送】としてください。

(3) 出願書類等

1	入 学 志 願 票	Post@net から A4 サイズで印刷し、提出してください。
2	志 望 理 由 書	本学所定の用紙を本学入試関連情報ホームページ (https://www.yamaguchi-u.ac.jp/nyushi/webentry/index.html) の「インターネット出願を利用できる入学者選抜」からダウンロードし、A4 判（各 1 枚）で片面印刷し、所定の枠におさまるよう日本語で記入してください（志願者本人がボールペンで記入してください）。
3	自己アピール書	
4	調 査 書 等	調査書作成上の注意事項については、15 ページを参照してください。 第 1 次選抜の加点評価項目表（18 ページ）に該当する項目がある場合は、19 ページの【注意事項】を参照してください。 (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和 9 年 3 月卒業見込みの者 文部科学省所定の様式により、令和 8 年 4 月以降に出身学校長が作成し、厳封した調査書を提出してください。 (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び令和 9 年 3 月修了見込みの者 所定の調査書に準じて学校長が作成したものを提出してください。 【(1)、(2)共通事項】 【a】出身学校等から、指導要録の「指導に関する記録」が保存期間（5 年）を超えており、所定の調査書が発行できない旨の回答があった場合、次の a-1）、a-2）のいずれかの書類を提出してください。 a-1）「指導に関する記録」の記載を省略した調査書 a-2）出身学校等から、a-1）の方法でも調査書が発行できない旨の回答があった場合は、次の書類を提出してください。 ア. 出身学校等が発行する「調査書が発行できない旨の理由書」等 イ. 卒業（見込み）証明書 ウ. 成績証明書、単位修得証明書、成績通信簿の写し（本人が保管している場合）等、入学志願者が提出可能な書類 【b】出身学校等から、指導要録の「学籍に関する記録」が保存期間（20 年）を超えており、所定の調査書が発行できない旨の回答があった場合、【a】の a-2）に準じ、書類を提出してください。 【c】出身学校等から、廃校、被災その他の事情により、調査書が発行できない旨の回答があった場合、【a】の a-2）に準じ、書類を提出してください。 (3) 学校教育法施行規則第 150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和 9 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者 ① 外国における 12 年の学校教育の課程修了（見込み）者 卒業（修了）証明書及び成績証明書を提出してください。

4	調 査 書 等	② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程の修了（見込み）者 所定の調査書に準じて学校長が作成したものを提出してください。 ③ 文部科学大臣が指定する専修学校の高等課程を修了した者 成績証明書を提出してください。 ④ 国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、GCEA レベル資格、国際Aレベル資格、ヨーロッパ・バカロレア資格を保有する者 当該試験の資格証明書・成績証明書等を提出してください。 ※1 ⑤ 国際的な評価団体（WASC、ACSI、NEASC、CIS、Cognia、COBIS）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者 修了（見込み）証明書に加え、当該教育施設が認定を受けていることを証明する書類を提出してください。 ※1 ⑥ 高等学校卒業程度認定試験（旧大検）に合格した者 合格成績証明書を提出してください。 免除科目がある場合は、高校等在学期間中の調査書又は成績証明書等を併せて提出してください。 ⑦ 高等学校卒業程度認定審査に合格した者 合格証明書を提出してください。 ※1 ④または⑤の資格で出願される場合は本学ホームページ (https://www.yamaguchi-u.ac.jp/nyushi/yoko/kaigainoshikaku/index.html) の記載を確認してください。
5	活動実績報告書	提出対象者： 以下の①、②いずれかに該当する者 ①「調査書等」欄の(1)、(2)により調査書等を提出する者のうち、【(1)、(2) 共通事項】に基づき調査書等を提出する者 ただし、【c】に該当する場合、現在高等学校等に在籍している者は除く。 ②「調査書等」欄の(3)により調査書等を提出する者 提出方法： 本学所定の用紙を本学入試関連情報ホームページ (https://www.yamaguchi-u.ac.jp/nyushi/webentry/index.html) の「インターネット出願を利用できる入学者選抜」からダウンロードし、A4判（1枚）で片面印刷し、所定の枠におさまるよう日本語で記入してください（志願者本人がボールペンで記入してください）。 備考： 提出対象者においては、該当する活動実績がない場合も、【チェック欄】の該当箇所にチェックのうえ、提出してください。
6	振 込 依 頼 書 (検 定 料 返 還 用)	第1次選抜不合格者へ検定料の一部を返還するために必要な書類です。 本学入試関連情報ホームページ (https://www.yamaguchi-u.ac.jp/nyushi/webentry/index.html) の「インターネット出願を利用できる入学者選抜」からA4判で印刷し、必要事項を記入のうえ、提出してください。
7	出 願 用 封 筒 ・ 宛 名 ラ ベ ル	出願書類郵送用の封筒を次の手順で準備し、出願書類（1～6、8）を封入のうえ、郵送手続きをとってください。 ・市販の封筒（角形2号封筒 [240mm×332mm] ）を用意する。

7	出 願 用 封 筒 ・ 宛 名 ラ ベ ル	- Post@netからA4判で宛名ラベルを印刷し、封筒に貼付する。 - なお、宛名ラベルは、検定料支払い後でなければ印刷できません。
8	そ の 他	第1次選抜の加点評価項目に関し、「英語の資格・検定試験等」については、各機関が発行する証明書等（18 ページ 第1次選抜の加点評価項目表（注2）参照）の原本又は写しを出願書類とともに提出してください。その際、英検（実用英語技能検定）については、2024年4月以降に受験したデジタル合格証明書とデジタル英検 CSE スコア証明書（いずれも英検の受験者マイページで閲覧できるプレビュー画面を各自で印刷したもの）の提出も認めます。TOEIC（L&R：Listening & Reading）については、2024年4月以降に受験したデジタル公式認定証（各自で印刷したもの）の提出も認めます。GTECについては、2024年4月以降に受験したOfficial Score Certificate（オフィシャルスコア証明書）の提出のみ認めます。 また、「英語の資格・検定試験等」以外の評価項目について、調査書に記載ができない場合は、該当する資格・活動等を証明する書類を、出願書類とともに提出してください。

- 注意事項 ア．出願書類に虚偽の記入をした者は、入学決定後でも入学許可を取り消すことがあります。
- イ．出願書類等に記載事項の記入もれや誤記がある場合は、受理しないことがあります。
- ウ．いったん受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返還しません。また、出願事項の変更も認めません。
- エ．出願書類のうち、外国語で記載された証明書等には日本語訳を添付してください。
- オ．出願資格が見込みであった者が、令和9年3月31日までに出願要件を満たさなかった場合には、入学することができません。
- カ．出願期間内に、出願登録、検定料の支払、出願書類等を郵送しなければ出願は完了しません。
- キ．出願登録内容の確定後は、入力事項の変更はできませんので、内容をよく確認して手続きを行ってください。入力事項に誤りがある場合は、出願ガイドを確認してください。

(4) 出願書類の郵送先

〒753-8511 山口市吉田 1677 - 1
山口大学アドミッションセンター（入試課）
T E L : (083) 933 - 5153
F A X : (083) 933 - 5041
E-Mail : nyushi@yamaguchi-u.ac.jp

(5) 受験票の印刷

受験票の印刷が可能になり次第、登録したメールアドレスに「受験票ダウンロード案内メール」が送付されます。

Post@net へログインし、「出願内容一覧」より山口大学の「出願内容を確認」を選択してください。「デジタル受験票ダウンロード」をクリックして、PDF ファイルを A4 サイズで印刷してください。

受験票は第1次選抜の可否に関わらず、すべての志願者が印刷することができますが、第2次選抜は第1次選抜合格者に対して実施します。

(参考) 第1次選抜加点評価項目に関する調査書記載例
(裏)

※		※		※		※					
5.	学習活動		観 点		評 価						
6.	内 容		学年		1	2	3	4			
	ホームルーム活動		観 点								
	生徒会活動										
	学校行事										
7.	第1学年	生物部 実用英語技能検定2級 ボランティア活動（企画・実施団体等：〇〇市、内容：〇〇市〇〇小学校における学習支援等、従事日数：合計10日間） 日本生物学オリンピック予選参加（得点：〇点（100点満点中）、〇名中〇位）									
	第2学年	生徒会書記 生物部 文化祭企画委員 実用英語技能検定準1級 〇〇市主催青少年語学研修参加（期間：8月1日～8月20日（20日間）、研修地：英国）									
	第3学年	生徒会会長 生物部部長 ボランティア活動（企画・実施団体等：〇〇市、内容：〇〇市〇〇小学校における学習支援等、従事日数：合計5日間） ITパスポート試験合格									
	第4学年										
8.	備考	SSH（スーパーサイエンスハイスクール）カリキュラム単位を修得									
9. 出欠の記録											
区分	学年	1	2	3	4	区分	学年	1	2	3	4
授 業 日 数						欠 席 日 数					
出席停止・忌引き等の日数						出 席 日 数					
留学中の授業日数						備 考					
出席しなければならぬ日数											
この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する 令和 年 月 日											
学 校 名		〇〇〇〇高等学校									
所 在 地		〇〇県〇〇市〇〇 〇〇-〇〇									
校 長 名		〇 〇 〇 〇		印		記載責任者職氏名		教諭 〇〇 〇〇		印	

※調査書記入上の注意事項等について

出願の学部・学科等における第1次選抜の加点評価項目（18ページ）に該当する場合は、「7. 指導上参考となる諸事項」の欄に記入してください。また、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）カリキュラム単位を修得した者は、「8. 備考」の欄に記入してください。（記載例参照）

(6) 個人情報の利用について

本選抜において出願の際に提出いただいた出願書類等で得た個人情報は、本学の入学者選抜に関わる業務のほか下記の業務に利用します。なお、個人情報の保護に関する法律第18条第3項各号及び第27条第1項各号に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

- ① 合格者の受験番号、住所及び氏名等の個人情報を、入学前教育及び入学手続に関わる業務に利用します。また、後援会や同窓会等の案内のために利用します。
- ② 入学手続者の受験番号、氏名、性別、生年月日、出身高等学校等の個人情報を学籍管理等の修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務並びに厚生補導に関わる業務に利用します。
- ③ 入学者選抜で取得した入学手続者に関わる成績等の個人情報を、入学料免除、入学料徴収猶予、第1年次における授業料免除及び奨学生採用等の経済支援に関わる業務に利用します。
- ④ 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を、統計処理業務及び本学における入学者選抜方法の改善に関わる調査・研究に利用します。
- ⑤ 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、大学入学共通テスト受験番号、合否及び入学手続等に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に通知します。
- ⑥ その他本法人の定める「学生・保護者等に係る個人情報の取扱いについて」※に従って個人情報を利用します。
- ⑦ 「振込依頼書」に記載された個人情報については、検定料返還手続以外に利用しません。

※「学生・保護者等に係る個人情報の取扱いについて」は、山口大学のホームページでご覧いただけます。

https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~soumuka/jyyouhou/personal/policy/guide_student.html

5. 入学者選抜方法等

入学者の選抜は、第1次選抜及び第2次選抜により行います。選抜の基準は次の表のとおりです。

(1) 配点基準一覧

学部	学科等	選抜 区分	第1次選抜の配点比率						第2次選抜の配点比率	
			全学共通評価項目 (70%)			学部指定評価項目 (30%)			面接試験・講義 等理解力試験 (100%)	
			調査書・ 志望理由書 等(注1)	英語の資格・ 検定試験等	高校に おける活動 等(注2)	資格・ 検定試験 等	各種大会 等での 活動・顕彰	その他の 活動	面接試験	講義等 理解力試験
人文	人文学科	第1次選抜	50%	10%	10%	30%			—	—
		第2次選抜	*	—	—	—	—	—	30%	70%
教育	小学校総合選修	第1次選抜	50%	10%	10%	30%			—	—
		第2次選抜	*	—	—	—	—	—	30%	70%
経済	経済学科 経営学科 観光政策学科	第1次選抜	50%	10%	10%	30%			—	—
		第2次選抜	*	—	—	—	—	—	50%	50%
理	物理・情報科学科 化学科 地球圏システム科学科	第1次選抜	50%	10%	10%	30%			—	—
		第2次選抜	*	—	—	—	—	—	30%	70%
工	創成工学科 建築学科	第1次選抜	50%	10%	10%	30%			—	—
		第2次選抜	*	—	—	—	—	—	30%	70%
情報	情報学科	第1次選抜	50%	10%	10%	30%			—	—
		第2次選抜	*	—	—	—	—	—	30%	70%
国際 総合 科学	国際総合科学科	第1次選抜	50%	10%	10%	30%			—	—
		第2次選抜	*	—	—	—	—	—	30%	70%

(注1)「調査書・志望理由書等」には、「調査書」、「志望理由書」、「自己アピール書」、「活動実績報告書」を含みます。「活動実績報告書」の提出対象者は、13 ページ (3) 出願書類等の「5 活動実績報告書」を参照のこと

(注2)「高校における活動等」には、「活動実績報告書」の内容を含みます。

*「調査書・志望理由書等」は、面接において参考資料とし、面接に含めて評価します。

(2) 第1次選抜

ア. 第1次選抜では、提出された「調査書」、「志望理由書」、「自己アピール書」、「活動実績報告書」及び「各学部・学科等が指定する加点評価項目」の総合評価により選抜を行います。加点評価項目は下表のとおりです。

第1次選抜の加点評価項目表			人文	教育	経済	理			工	情報	国際総合科学
学科等			人文学科	小学校総合選修	全学科	物理・情報科学科	化学科	地球圏システム科学科	全学科	情報科学科	国際総合科学科
評価項目(注1)											
全学共通評価項目	英語の資格・検定試験等	英検CSEスコア1950点以上(詳細は「注2-英検i」参照)またはTOEIC(L&R)550点以上またはGTEC930点以上(注2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		英検CSEスコア1700～1949点(詳細は「注2-英検ii」参照)またはTOEIC(L&R)225～545点またはGTEC680～929点(注2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	活動 おける 高校に	部活動の部長	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		生徒会長	○	○	○	○	○	○	○	○	○
学部指定評価項目	資格・検定試験等	日商簿記1級			○						
		英検CSEスコア2300点以上(詳細は「注2-英検iii」参照)またはTOEIC(L&R)785点以上またはGTEC1180点以上(注2)	○								○
		英検CSEスコア1950～2299点(詳細は「注2-英検iv」参照)またはTOEIC(L&R)550～780点またはGTEC930～1179点(注2)	○								○
		情報処理技術者試験(ITパスポート試験または情報セキュリティマネジメント試験)(注3)				○			○	○	
		情報処理技術者試験(ITパスポート試験及び情報セキュリティマネジメント試験以外)(注3)				○			○	○	
		実用数学技能検定(注4)									
		(1) 1級				○			○	○	
		(2) 準1級				○			○	○	
		(3) 2級							○	○	
		科学オリンピック(日本)									
	各種大会等での活動、顕彰	(1-1) 物理チャレンジ(第1チャレンジ参加)				○	○	○	○	○	
		(1-2) 物理チャレンジ(第2チャレンジ参加者に選抜)				○	○	○	○	○	
		(2-1) 日本情報オリンピック(一次予選参加)				○		○	○	○	
		(2-2) 日本情報オリンピック(二次予選参加)				○		○	○	○	
		(3-1) 日本数学オリンピック(予選参加)				○		○	○	○	
		(3-2) 日本数学オリンピック(予選Bランク以上)				○		○	○	○	
		(4-1) 化学グランプリ(一次選考参加)				○	○	○	○	○	
		(4-2) 化学グランプリ(一次選考通過)				○	○	○	○	○	
		(5-1) 日本生物学オリンピック(予選参加)				○		○	○	○	
		(5-2) 日本生物学オリンピック(予選通過)				○		○	○	○	
		(6-1) 日本地学オリンピック(予選参加)				○		○	○	○	
		(6-2) 日本地学オリンピック(予選通過)				○		○	○	○	
		科学オリンピック(国際)									
		(1) 国際物理オリンピック(代表に選抜)				○	○	○	○	○	
		(2) 国際情報オリンピック(代表に選抜)				○		○	○	○	
		(3) 国際数学オリンピック(代表に選抜)				○		○	○	○	
		(4) 国際化学オリンピック(代表候補)				○	○	○	○	○	
		(5) 国際生物学オリンピック(代表候補)				○		○	○	○	
		(6) 国際地学オリンピック(代表に選抜)				○		○	○	○	
	その他の活動	SSHカリキュラム受講者(注5)						○	○	○	
		生徒会役員		○		○	○	○			○
		部活動所属(2年以上在籍)		○							○
		海外留学・海外研修(期間は14日以上)(注6)		○		○	○	○	○	○	○
		ボランティア活動(通算で14日以上)(注7)		○							

- (注1) 第1次選抜において加点評価対象となるのは、高等学校等入学以降の資格・活動等です。
- (注2) 英検(実用英語技能検定)で評価対象とする試験は「英検(従来型)、英検 S-CBT、英検 S-Interview」とする。英検 CSE スコアは、2024 年 4 月以降に受験した【合格証書(Certificate)、合格証明書、デジタル合格証明書、個人成績表[英検(従来型)・英検 S-Interview は二次試験のもの]、英検 CSE スコア証明書、デジタル英検 CSE スコア証明書】に記載の「(4 技能)総合スコア(※全 4 技能の技能別スコアを足し合わせたもの)」とする。なお、受験した級[受験級]の可否は問わないが、受験級別に次のスコアを有効とする。
- 「注2-英検 i」[受験級 2 級] 1950 点以上、[受験級準 1 級] 1980 点以上、[受験級 1 級] 2304 点以上
「注2-英検 ii」[受験級準 2 級又は準 2 級プラス] 1700 点以上、[受験級 2 級] 1728 ～ 1949 点
「注2-英検 iii」[受験級準 1 級] 2300 点以上、[受験級 1 級] 2304 点以上
「注2-英検 iv」[受験級 2 級] 1950 点以上、[受験級準 1 級] 1980 ～ 2299 点
- TOEIC (L&R:Listening & Reading) は 2024 年 4 月以降に受験した【Official Score Certificate (公式認定証)、Digital Official Score Certificate (デジタル公式認定証)】記載の TOEIC テストスコアのみを有効とする。
- GTEC は 2024 年 4 月以降に受験した【Official Score Certificate (オフィシャルスコア証明書)】記載の Official Score のみを有効とする。
- (注3) 情報処理技術者試験：独立行政法人情報処理推進機構が行う情報処理に関する試験で、試験区分は IT の利活用に関する基礎知識を問う「IT パスポート試験」及び「情報セキュリティマネジメント試験」と、情報処理技術者に求められる知識・技能を問う「基本情報技術者試験」他数種の試験とに区分される。
- (注4) 実用数学技能検定：公益財団法人日本数学検定協会が行う、数学の実用的な技能(計算・作図・表現・測定・整理・統計・証明)を測る検定。
- (注5) SSH カリキュラム受講者：文部科学省よりスーパーサイエンスハイスクール (SSH) の指定を受けた学校に在籍あるいは卒業し、SSH カリキュラム単位を修得した者(SSH カリキュラムが「総合的な学習の時間」に設定されている場合も含む)。SSH 指定校に在籍あるいは卒業した者は、履修した教科・科目(「総合的な学習の時間」を含む)が SSH カリキュラムに該当するかどうかについて、高等学校等に確認のうえ、インターネット出願サイト上の SSH カリキュラム選択欄で選択してください。
- (注6) 海外留学・海外研修：高等学校等またはその他団体等が企画・主催したもので、出国から帰国までの期間が 14 日間以上のもの。なお、その他団体等が企画・主催したものに参加した場合は、教育的なプログラムが含まれていることを確認のうえ、調査書に団体名を明記してください。また、いずれの場合も期間(〇〇日間)を明記してください。
- (注7) ボランティア活動：学校等の教育機関または公的機関(もしくはそれに準ずる団体)が企画・実施するもので、参加日数を通算(複数のボランティアを含めてよい)して 14 日以上であること。学校等の教育機関以外の団体が企画・実施したものについては、教育及び人格形成上有用な内容であることを確認のうえ、調査書に機関名等を明記してください。また、いずれの場合も、参加期間(〇〇日間)を企画ごとに明記してください。

【注意事項】

- ①第1次選抜の評価項目に示された各種資格・活動等については、(注2)に記載のある英語の資格・検定試験等を除き、調査書の所定の欄にすべて記入してください。その場合、合格証明書(写)等の提出は不要です。
- ②(注2)に記載のある英語の資格・検定試験等については、(注2)に記載している【 】内の証明書等(写し可)を出願書類とともに提出してください。
- ③第1次選抜の加点評価項目表にある「評価項目」に記載されている取得資格・検定等に該当がある者で、調査書が提出できない者又は高等学校等卒業後に資格等を取得した者は、合格証明書等(写し可)を出願書類とともに提出してください。
- ④科学オリンピックの項目を入力する際は、18 ページを参照のうえ、下記の分類に従ってください。

○科学オリンピック【日本】参加：(1-1)、(2-1)、(3-1)、(4-1)、(5-1)、(6-1)
○科学オリンピック【日本】予選通過等：(1-2)、(2-2)※、(3-2)、(4-2)、(5-2)、(6-2)
○科学オリンピック【国際】：(1)、(2)、(3)、(4)、(5)、(6)
※第18回以前の日本情報オリンピックの場合は、「予選 B ランク以上」が該当します。

イ. 第1次選抜による結果通知は、令和8年9月14日(月)10時(予定)に、Post@net 内可否照会ページから志願者全員の合・否の結果を通知します。

ウ. 第1次選抜不合格者には、納付済みの検定料のうち、13,000 円を返還します。出願書類等として提出していただいた振込依頼書(検定料返還用)の振込先に返還しますので、改めて請求する必要はありません。入試成績の情報開示を希望した受験者については、成績開示手数料 1,000 円を合わせて返還します。なお、返還時の振込手数料は受取人負担となります。

(3) 第2次選抜

第2次選抜では、第1次選抜合格者に対して、学部・学科ごとに次のとおり「面接試験」及び「講義等理解力試験」を行い、提出書類等の内容と併せた総合評価により最終合格者を決定します。

※「面接試験」及び「講義等理解力試験」の両方を受験する必要があります。

ア. 第2次選抜の日程等

令和8年9月28日（月）～9月30日（水）

学 部	面 接 試 験		講義等理解力試験	
	日 程	会 場	日 程	会 場
人 文 学 部	9月29日(火) 13:00～	共通教育棟	9月30日(水) 9:00～	人 文 学 部
教 育 学 部	9月29日(火) 13:00～		9月30日(水) 9:00～	教 育 学 部
経 済 学 部	9月28日(月) 13:00～		9月29日(火) 9:00～	経 済 学 部
理 学 部	9月28日(月) 13:00～		9月29日(火) 9:00～	理 学 部
工 学 部	9月29日(火) 13:00～	常盤キャンパス	9月30日(水) 9:00～	常盤キャンパス
情 報 学 部	9月29日(火) 13:00～		9月30日(水) 9:00～	
国際総合科学部	9月29日(火) 13:00～	共通教育棟	9月30日(水) 9:00～	国際総合科学部

●人文学部・教育学部・経済学部・理学部・国際総合科学部・共通教育棟：吉田キャンパス

（キャンパスへの行き方は、巻末の「交通のご案内」を確認してください）

《受験上の注意》

- ①指定された試験場（会場）以外での受験は認められませんので、試験場を間違えることのないよう注意してください。
- ②受験の際は、本学の「受験票」を携帯してください。入学手続完了までは大切に保管しておいてください。
- ③第2次選抜における各試験（面接試験・講義等理解力試験）の集合時間や集合場所・準備（持参）するもの等の詳細は、第2次選抜に関する通知の際にお知らせします。
- ④講義等理解力試験当日は、各学部が指定する時刻までに受付をすませたうえで、所定の試験室等に入ってください。
なお、疾病等いかなる理由にかかわらず試験開始時刻後20分を経過した場合は、当該試験の受験はできません。
- ⑤試験の開始、終了及びその他の事項等は、すべて監督者の指示に従ってください。

イ. 第2次選抜の内容

① 面接試験

「個人面接」（人文学部・理学部）又は「集団面接」（教育学部・経済学部・工学部・情報学部・国際総合科学部）を行います。複数の面接委員が勉学意欲、明確な目的意識、自己表現力などを中心に総合的な評価をします。

② 講義等理解力試験

講義等理解力試験の実施内容	
学 部	実施内容・時間（時間は目安です）
人文学部	講義（90分）を行い、その講義に関するレポート（90分）を課します。理解力、分析力、論理的思考力、表現力、ならびに人文学部アドミッション・ポリシーへの適合性を総合的に評価します。
教育学部	〈小学校教育コース 小学校総合選修〉 前半は、講義（約50分）を行い、その講義に関する課題及びレポート（60分）を課します。後半は、別途課題を提示し、課題に関するプレゼンテーション（資料作成（A3用紙2枚）30分、発表3分以内及び質疑）を行います。理解力、整理分析力、論理的思考によって結論を導く力、その過程と結論を的確に表現する力を総合的に評価します。
経済学部	講義（90分）を行い、その講義に関するレポート（90分）を課します。その後、講義に関連した課題を提示し、グループディスカッション（25分）を行います。学部アドミッション・ポリシーへの適合性を計るとともに、リーダーシップ、理解力、表現力、積極性等を総合的に評価します。
理 学 部	〈物理・情報科学科〉 講義（70分）を行い、その講義に基づくレポート（70分）を課します。その後、レポートの内容に基づいての質疑応答（15分）を行います。以上により、基礎学力、理解力、論理性、積極性、コミュニケーション能力を総合的に評価します。
	〈化学科〉 講義（70分）を行い、その講義に基づくレポート（70分）を課します。その後、化学に関する質疑応答（15分）を行います。以上により、基礎学力、理解力、論理性、積極性、コミュニケーション能力を総合的に評価します。
	〈地球圏システム科学科〉 講義（70分）を行い、その講義に基づくレポート（70分）、グループディスカッション（120分）を行います。積極性、論理性、理解力を総合的に評価します。
工 学 部	〈創成工学科 機械系〉 機械工学に関する初歩的な講義（90分）を行い、その講義に関連した基礎学力・理解力・応用力を問うレポート作成や試験など（60分）を行います。また、英語コミュニケーション能力に関するテスト（英語CBT（120分））を行います。これらを通じて、大学で学ぶ内容を修得するために必要な能力と適性を総合的に評価します。なお、講義に用いる資料等には、英語を含むことがあります。

講義等理解力試験の実施内容	
学 部	実施内容・時間（時間は目安です）
工 学 部	〈創成工学科 国土・環境デザイン系〉 建設、環境およびその基礎に関連する模擬講義（60分）、レポート作成（30分）、小テスト（30分）、個別の質疑応答（15分／人）を行い、基礎学力、理解能力、論理性、表現力、国際性を総合的に評価します。なお、講義に用いる資料には、英語を含むことがあります。
	〈創成工学科 化学系〉 大学で受ける教育の初歩が体験できる講義と内容の理解度の確認（90分）を行います。その後、個別質疑応答（15分／人）を行い、理解力、基礎学力、論理性、積極性、コミュニケーション能力などを評価します。なお、講義に用いる資料等には、英語を含むことがあります。
	〈創成工学科 電気電子系〉 数学と物理に関する設問に対話形式で解答（各10分／人）してもらいながら、電気電子系で学ぶ内容に対応することのできる基礎的な学力、コミュニケーション能力、及び積極性などを総合的に評価します。
	〈建築学科〉 人間中心の視点から空間の安全性や快適性及び空間デザインに関する初歩的な講義（70分）を行います。次に、その内容を基に基礎的な演習またはレポート作成（60分）を課します。また、英語コミュニケーション能力に関するテスト（英語CBT（120分））を行います。 以上により、学科で学ぶ内容に対応することのできる基礎的な学力、コミュニケーション能力、積極性などを総合的に評価します。なお、講義に用いる資料等には、英語を含むことがあります。
情報学部	〈情報学科〉 情報に関連する講義（75分）とそれに関連する小テスト（60分）を実施します。また、英語コミュニケーション能力に関するテスト（英語CBT（120分））を行います。それらを通じて、志願者の基礎学力、理解力、ならびに学部・学科アドミッション・ポリシーへの適合性を評価します。なお、講義に用いる資料等には、英語を含むことがあります。
国際総合科学部	講義（60分）を行い、その講義に関したレポート（50分）を課します。講義の一部は英語で行い、レポートの一部は英語で解答します。さらに、講義に関連した課題を提示して、グループディスカッション（50分）を行います。グループディスカッションは日本語で行います。これらにより、学部アドミッション・ポリシーへの適合性を計るとともに、理解力、分析力、論理的思考力、表現力、コミュニケーション能力、英語力を総合的に評価します。

過去の講義等理解力試験におけるテーマ [令和6～8年度]

人文学部

年度	学科・コース等	講義等理解力試験のテーマ
6	人文学科	・物語の語り ―『源氏物語』の橋姫巻の方法―
7	人文学科	・信頼できない語り手 ―アルフォンス・ドーデー「最後の授業」―
8	人文学科	・伝記と歴史-プルタルコスの場合

教育学部

年度	学科・コース等	講義等理解力試験のテーマ
6	学校教育教員養成課程 小学校教育コース (小学校総合選修)	・子どもの体力と運動発達 ・アイデアコンテスト
7		・新たな教師の学び ・絵手紙
8		・PISA調査と授業改善 ・学級での出来事

経済学部

年度	学科・コース等	講義等理解力試験のテーマ
6	全学科	・経済成長を決める要因について（実質GDPの短期的な決定においては、民間投資と輸出が重要な役割を果たしていることを学ぶ）
7	全学科	・子供の起こした事故についての親の責任（道徳・慣習で当たり前と思われている親の責任について、法がどのような考えでどのように規律しているか学ぶ）
8	全学科	・株式会社の所有と経営をめぐる過去・現在・未来（ステークホルダー資本主義論の基礎とその歴史的背景を学び、株式会社の今後を考える）

理学部

年度	学科・コース等	講義等理解力試験のテーマ
6	物理・情報科学科	・ベイズの定理
	化学科	・物質の色 ―光と分子の相互作用―
	地球圏システム科学科	・隕石からわかる地球のこと ・火山噴火と防災
7	物理・情報科学科	・最適化問題
	化学科	・有機化学の基礎と不飽和結合が関わる反応
	地球圏システム科学科	・地質時代と人新世 ・炭素循環と地球史
8	物理・情報科学科	・データから因果を見つけるには？
	化学科	・有機化合物の異性体：構造異性体と立体異性体
	地球圏システム科学科	・石灰岩が語る太古の海 ・地形から災害を予測する

工学部 ※令和6～7年度は改組前の情報となります。

年度	学科・コース等		講義等理解力試験のテーマ
6	機械工学科		・これまで学んだ力学の知識を回転運動に拡張し、関連付ける。
	社会建設工学科		・因数分解できない方程式の解はどうやって求めればよいですか
	応用化学科		・化学反応の仲立ちをする物質 触媒について
	電気電子工学科		・数学：微分・積分、関数、方程式など ・物理：力学、電気電子工学関連分野など
	知能情報工学科		・情報工学のうち重要な技術であるキャッシュメモリについての基礎を理解する。
	感性デザイン工学科		・自由振動について
	循環環境工学科		・エネルギー供給とエネルギー貯蔵
7	機械工学科		・ねじの設計
	社会建設工学科		・コンクリート工学
	応用化学科		・高分子化学 ・高分子化合物の基礎・合成にまつわる話題
	電気電子工学科		・数学：微分・積分、関数、方程式など ・物理：力学、電気電子工学関連分野など
	知能情報工学科		・情報工学における重要な技術の一つである画像処理についての基礎を理解する
	感性デザイン工学科		・建築における室内熱環境の重要性
	循環環境工学科		・物質収支の基礎と燃料
8	創成工学科	機械系	・平面内の回転運動と、回転と仕事の伝達
		国土・環境デザイン系	・Landfill for Sustainable Waste Management
		化学系	・タンパク質の化学
		電気電子系	・数学：微分・積分、関数、方程式など ・物理：力学、電気電子工学関連分野など
	建築学科		・建物に作用する力

情報学部

年度	学科・コース等	講義等理解力試験のテーマ
8	情報学科	・情報学における重要な技術である ニューラルネットワークについての基礎を理解する

国際総合科学部

年度	学科・コース等	講義等理解力試験のテーマ
6	国際総合科学科	・Information Society
7	国際総合科学科	・地球環境と人間社会 Earth Environment and Human Society
8	国際総合科学科	・環境心理学 Environmental Psychology

(4) 障害等のある入学志願者との事前相談について

本学では、障害等があり、受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者のための相談を行っています。相談を希望する者は、受験上及び修学上必要な配慮について協議いたしますので、本学入試関連情報ホームページ (<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/nyushi/yoko/>) の様式を用いて、入試課(14 ページ「(4) 出願書類の郵送先」参照) へ申し出てください。

- ・相談内容によっては対応に時間を要することもありますので、出願の予定があればできるだけ早い時期に相談してください。相談後に出願されなくても差し支えありません。
- ・**令和8年7月15日(水)** までに申し出がなかった場合は、受験上の配慮が講じられない場合もありますので十分注意してください。

なお、修学上の配慮についての詳細は、入学後に改めて協議します。

下の表は、事前相談が必要と思われる場合の目安です。受験に際して、配慮や支援機器等の使用を希望する場合は、事前相談が必要になります。下の表から判断できない場合や不明な場合等は、お問い合わせください。

表：事前相談の目安

区 分	障害の程度	受験上の対応実績
①視 覚 障 害	・点字による教育を受けている者 ・両眼の矯正視力が0.3以下の者 ・視力以外の視機能障害が高度の者 ・上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者	・拡大鏡の持参使用 ・卓上ライトの貸出 ・座席の配慮 ・解答方法の配慮 ・試験時間の延長 等
②聴 覚 障 害	・両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者 ・上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者	・補聴器の持参使用 ・注意事項の文書伝達 ・座席配慮 等
③肢体不自由	・体幹の機能障害により座位を保つことが困難な者 ・上肢・下肢の機能障害が著しい者 ・上記以外で肢体不自由に関する配慮を必要とする者	・車いす・松葉杖等の持参使用 ・試験室までの移動に関する配慮 ・座席配慮 ・解答方法の配慮 ・試験時間の延長 ・別室受験 等
④病 弱	・慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者	・車いす・松葉杖等の持参使用 ・試験室までの移動に関する配慮 ・座席配慮 ・解答方法の配慮 ・試験時間の延長 ・別室受験 等
⑤発 達 障 害	・学習障害、注意欠如・多動症（注意欠陥多動性障害）、自閉スペクトラム症（自閉症、アスペルガー症候群、その他の広汎性発達障害等）等のため配慮を必要とする者	・注意事項の文書伝達 ・試験時間の延長 ・別室受験 等
⑥そ の 他	・①～⑤の区分以外の者で配慮を必要とする者	

※本学入試関連情報ホームページ (<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/nyushi/yoko/>) から様式 (PDF または Word) をダウンロードし、A4 サイズで印刷、必要箇所に手書き (黒のボールペンにて記載) または Word への直接入力により作成してください。

事前相談様式

山口大学 副学長 (教育学生担当) 殿	令和 年 月 日
	フリガナ 氏 名 性 別 住 所 〒 電話番号 メールアドレス 出身学校名
事前相談書	
山口大学に入学を志願したいので、下記のとおり事前に相談します。	
記	
1. 志望する学部・学科 (課程、コース) 及び入試種別 (例: 人文学部・人文学科・総合型選抜) 2. 障害等の種類、程度 3. 受験上の配慮を希望する事項 4. 修学上の配慮を希望する事項 5. 高等学校等における生活状況等 (主として授業関係) 6. その他 7. 添付書類 ・医師の診断書 (写し可) または障害者手帳の写し ※配慮の根拠を示す書類として、いずれかを必ず添付してください。日本語または英語の診断書を推奨します。 ・その他相談する際に必要と思われる参考資料	

(注1) 相談を希望する者として、受験者本人を想定しています。事前相談書は、受験者本人が記載することを推奨します。内容を本人がご確認のうえ、ご相談ください。

(注2) 「3. 受験上の配慮を希望する事項」、「4. 修学上の配慮を希望する事項」及び「5. 高等学校等における生活状況等」は、できるだけ具体的に記載してください。

6. 個別の入学資格審査

学校教育法施行規則第150条第7号により出願しようとする者については、事前に個別の入学資格審査を受け、入学資格が認められた場合は出願できます。

(1) 入学資格審査の対象者

令和9年3月31日までに18歳に達する者で、次のいずれかに該当している者

- ① 学校教育における9年の課程修了を基礎とし、修了年限が3年以上である各種学校等を卒業又は修了している者（卒業又は修了見込み者を含む）
- ② 上記①に規定する各種学校等以外の学習歴、社会での実務経験等がある者

(2) 申請書類

- ① 入学資格認定申請書（本学所定の様式※）
- ② 返信用封筒（長形3号封筒〔120mm×235mm〕を準備のうえ、封筒表面に返信先となる「申請者の郵便番号・住所・氏名」を明記し、760円分の切手を貼ってください）

③ (1)①で申請する場合

- ア. 調査書又は成績証明書
- イ. 卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込み証明書
- ウ. 学校案内、学（校）則その他カリキュラム及び卒業に必要な総授業時間数が明示されている書類

(1)②で申請する場合

- ア. 大学入学資格があるとする理由書（本学所定の様式※）
- イ. 最終学習歴の卒業（修了）証明書
- ウ. 実務経験の期間及び内容を証明する書類
- エ. 資格を保有していることを証明する書類（資格を取得している場合に限る）

※「本学所定の様式」は山口大学入試関連情報ホームページからダウンロードしてください。

(3) 申請期限及び申請方法等

申請期限：令和8年7月6日（月）（本学必着）

申請方法：封筒表面に「入学資格認定申請書類在中」と朱書きし、特定記録郵便速達で、下記の提出先へ送付してください。

提出先

〒753－8511 山口市吉田 1677－1

山口大学アドミッションセンター（入試課）

問い合わせ先

山口大学入試課 電話（083）933－5153（受付時間は、平日の9時から17時まで）

(4) 審査結果の通知

入学資格審査の結果は、申請者本人に郵送で通知します。

なお、入学資格を認められた者には、「山口大学入学資格認定書」を交付します。

本学への出願の際は、「山口大学入学資格認定書（写）」を出願書類に添付してください。

(5) その他

- ・申請書類により判断し難いときは、面接その他の審査方法により、審査することがあります。
- ・入学資格を認められた者は、本学への入学を志願する場合において効力を有します。
- ・入学資格の認定を受けた者が次のいずれかに該当する場合には、認定の取消となります。
 - ア. 学校教育における9年の課程修了を基礎とし、修了年限が3年以上である各種学校等を卒業又は修了見込みで申請した場合で、当該各種学校等を卒業又は修了しないとき
 - イ. 申請書類に虚偽の内容を記載していた事実が判明したとき

7. 教員免許資格の取得を検討されている方へ

令和6年6月に「学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律」（以下「こども性暴力防止法」という。）が成立しました。

この法律の施行日（令和8年12月25日施行予定）以降、教員免許状の取得のための教育実習等の前に、こども性暴力防止法に基づく特定性犯罪前科の事実確認が行われる可能性があります。この手続きにおいて当該前科が確認された学生は、教育実習等を行うことができないため、教員免許状を取得することができません。

【教育学部】

教育実習等の単位が卒業に必須となっているため、卒業要件を満たすことができず、卒業できない可能性があります。教員免許状の取得を希望している方は、本内容を十分にご理解いただいた上で、出願をご検討ください。

また、入学手続き時に、同意書及び誓約書の提出を求めます。

【一般学部（人文、経済、理、工、情報、農学部）】

教育実習が卒業要件とはなっていませんが、教員免許状を取得する上での所定の単位数を満たすことができないため、教員免許状を取得することができません。

8. 合 格 発 表

合格発表 令和8年11月2日（月）10時（予定）

志願者には、Post@net内合否照会ページから合・否の結果を通知し、合格者には合否照会ページから合格通知書を発行します。

合否の確認及び合格通知書の発行方法は出願ガイドをご確認ください。

なお、総合型選抜の合格者情報を山口大学入試関連情報ホームページにて掲載しますが、情報提供サービスの一環として行うもので、合格者には合格通知書をもって正式に通知します。

山口大学入試関連情報ホームページ

URL:<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/nyushi>



合・否の問い合わせには応じません。

また、合格者の受験番号の学内での掲示は行いません。

9. 入 学 手 続

合格者は、下記期間内にPost@netからログインして、入学手続きを行ってください。

入学料の納付のみでは、入学手続きは完了となりません。必ず令和9年度入学の手引に従って必要な手続きを行うとともに、「入学手続きに必要なもの」を確認のうえ必要書類を提出（アップロード）してください。

入学手続きの詳細及び関係のご案内は、「入学手続きについてのお知らせ」サイトをメールにてご案内しますので、そちらから「入学の手引」のほか、合格学部からの各種連絡事項を確認してください。

入学手続き期間を超えて手続きすることはできません。「入学の手引」のほか、必要な案内をよくご確認の上、必要な手続きを期間内に行ってください。

1. 入学手続き期間 令和8年11月2日（月）～11月9日（月）17時00分

2. 入学手続きに必要なもの

入 学 料	282,000 円（予定額）
写 真 デ ー タ	学生証写真等で使用します。高等学校等の制服以外の服装で撮影したものを用意し、Post@net 上の指定の場所へアップロードしてください。
入 学 届・宣 誓 書	Post@net 上の入学手続きで内容を確認し、手続きを行ってください。
自動払込利用申込書	
承 諾 書	

10. 入学時に要する経費

(1) 入学料及び授業料

入学料（入学手続き時に納付）	282,000 円（予定額）
授業料（入学後に納付）	前期分 321,480 円（予定額） 後期分 321,480 円（予定額）

- 注 1. 本学生募集要項公表後、令和 9 年度入学者に係る入学料、授業料の改定を本学として決定した場合は、改定後の額となります。また、既に納入されていた場合は改定額との差額を納入していただくことになります。
2. 在学中の授業料の納付は、入学手続き時に作成する自動払込利用申込書に基づき、前期分は 5 月末日、後期分は 11 月末日（末日が土・日曜の場合は、その前の平日）にゆうちょ銀行の学生（又は学資負担者）名義の口座から自動的に引き落とし大学に納付することとなります。
3. 入学料の免除及び授業料の免除を希望する者は、31 ページを参照してください。
（授業料免除の申請を行う場合も自動払込利用申込書の提出が必要となります）
4. 授業料は在学中に授業料改定を行った場合、原則として、新授業料を適用します。
5. 入学手続き時の際、上記入学料に加え、別途払込手数料が必要となります。

(2) その他の諸経費

項 目	人文学部	教育学部	経済学部	理 学 部	工 学 部	情報学部	国際総合科学部
※ ¹ 学生教育研究災害傷害保険料（予定額）	4,660 円	4,660 円	4,660 円	4,660 円	4,660 円	4,660 円	4,660 円
後 援 会 費	20,000 円	20,000 円	30,000 円 (学会費含む)	30,000 円	20,000 円	20,000 円	20,000 円
同 窓 会 費	10,000 円	20,000 円	20,000 円 (入会積立金)	15,000 円	※ ² 初年度 25,000 円 (4年間合計 100,000 円)	※ ² 初年度 25,000 円 (4年間合計 100,000 円)	10,000 円
合 計	34,660 円	44,660 円	54,660 円	49,660 円	49,660 円	49,660 円	34,660 円

- ※¹ 学生教育研究災害傷害保険料は、学研災付帯賠償責任保険を含みます。なお、学研災付帯学生生活総合保険に加入される方は、別途保険料が必要です。
- ※² 工学部・情報学部の同窓会費（終身会費 100,000 円）は、一括又は分割（半期毎に 12,500 円、4 年間で計 8 回）による払い込みとなります。
- ※³ 山口大学から海外に留学する場合、留学保険や危機管理サービスへ加入するための費用が必要になります（留学期間等により金額は異なります）。
- ※⁴ その他教材費として教科書、参考書、実験・実習経費及び TOEIC 受験料等の経費が必要になります。

※5 上記の諸経費の他に、学部・学科等によっては推奨ノートパソコンを選定しております。これは、「高度情報社会に対応できる人材の育成」の観点から、情報処理教育や TOEIC 等の学習などでパソコンを使用する環境を本学が提供しているためです。

学部により機種は異なりますが、学内に部会を組織し、毎年1月頃に学部ごとに推奨機種を決定しています。これまでは、おおむね190,000～250,000円程度のものが選定されています。なお、選定された機種はあくまでも推奨機種ですので、授業等において必要な機能を有するものであれば、既にお持ちの機種等をお使いになっても構いません。

11. 入 学 準 備

合格者には、入学までの期間を有意義に過ごしてもらい、また、入学後の学修を円滑に進めることができるように、アドミッションセンターや合格した学部がレポートの提出を求めるなどの教育・指導を行います。その際、教材費が必要となります。

詳細は、合格者に対して後日通知します。

12. そ の 他

(1) 総合型選抜による選抜方法は、大学・学部が求める学生像に適した資質を問う選抜であるため、合格者数が募集人員に満たない場合があります。合格者数が募集人員に満たない場合、その欠員は本学が実施する一般選抜（前期日程）の募集人員に加えます。

(2) 入学手続を完了した者は、入学の辞退を許可された場合を除き、本学及び他の国公立大学の一般選抜及び学校推薦型選抜を受験しても入学許可は得られません。

(3) 検定料の返還について

次に該当した場合は納付済みの検定料を全額又はその一部を返還します。ただし、返還時の振込手数料は受取人負担となります。

ア. 第1次選抜不合格者

検定料のうち、13,000円を返還します。19 ページ「5. 入学者選抜方法等 (2) 第1次選抜 ウ.」を参照してください。

イ. 検定料を納付済みであるが山口大学に出願しなかった場合

ウ. 検定料を誤って二重納付した場合又は誤って所定の金額より多く納付した場合

エ. 出願書類等を提出したが出願が受理されなかった場合

入試成績の情報開示

総合型選抜の成績は、受験者本人からの申請に基づき、開示を行います。

開示を希望する受験者は、出願時に、Post@netにて、情報開示を希望する旨の選択をしてください。
開示には別途手数料（1,000円）が必要です。開示時期については、令和9年3月下旬（予定）に山口大学入試関連情報ホームページに掲載する予定です。

入学料及び授業料の免除制度

1. 高等教育修学支援新制度（給付奨学金・入学料免除・授業料免除）

住民税非課税世帯及びこれに準じる世帯の日本人の学部学生は、世帯の所得金額に基づいて決定された区分に応じて奨学金（日本学生支援機構給付奨学金）が給付され、併せて授業料及び入学料が減免されます。また、2025年度からは多子世帯（扶養する子が3人以上）に対する支援が拡充されました。多子世帯に認定された学生は、授業料及び入学料が全額免除されます。

(1) 申請を行うことができる方

- ア 日本学生支援機構の給付奨学生採用候補者となった方
- イ 出身高等学校等で日本学生支援機構の給付奨学金の申し込みを行い、選考中の方
- ウ 大学に入学後、日本学生支援機構の給付型奨学金申し込みを行う予定である方

(2) 申請方法

日本学生支援機構の給付奨学金への申し込みのほか、入学手続の際に、別途、本学に入学料及び授業料の免除を申請する必要があります。詳細については、下記ホームページの内容をよく確認し、対応してください。

<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~st-support/st-support-center/tebiki/tetsuzuki/nyuugaku-jyugyou-ryou/#jyugyouryou-menjyo>

「山口大学ホームページ（受験生の方）」→「キャンパスライフを知りたい」→
「入学料・授業料」→「授業料の免除」へ進んでください。



免除の申請をした方は免除決定の日まで授業料及び入学料の納入が猶予されます。

免除の許可・不許可については、高等教育修学支援新制度の支援区分（多子世帯含む）に応じて認定し、結果を通知します。不許可または一部免除の方は、本学が指定する期間に所定の金額を納入しなければなりません。納入しなかった場合、除籍となり、大学に在籍できなくなりますので注意してください。

2. 特別待遇学生制度

特別待遇学生制度とは、本人の申請に基づかず、在学中の学業成績が特に優れ、かつ、人物優秀であると認められる学生を、学部等の長の推薦に基づき各学部等から選考し、各期分の授業料を一部免除する制度です。ただし、1年生については後期分から選考の対象となります。

なお、特別待遇学生制度の内容については、在学中に変更される可能性があります。

3. 問い合わせ先

山口大学学生支援部学生支援課 経済支援係 電話（083）933 - 5611

ななむら 山口大学基金七村奨学金

経済的理由で修学に専念することが困難で学力優秀な学生の学生生活を支援するための返還を必要としない奨学金を給付します。

ア 概要

- 対象者 令和9年度入学者で学力が優秀であり、生計維持者の収入又は所得が本学で定める基準に該当する者
- 給付金額 月額 70,000 円×10ヶ月分（9月、3月を除く）、年額 700,000 円
- 支援期間 所属する学部の修業年限の期間
- 募集人数 10 名以内

イ 申請手続等

申請手続等については、決まり次第本学ホームページに掲載しますので、下記ホームページの内容をよく確認し、対応してください。

<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~st-support/st-support-center/tebiki/tetsuzuki/scholarship/>

「山口大学ホームページ（受験生の方）」→

「キャンパスライフを知りたい」→「奨学金」へ進んでください。



大規模自然災害により被災した志願者の検定料の免除

山口大学では、大規模自然災害により被災した受験者の進学機会を支援するために、本学が実施する学部及び大学院入学試験の志願者で、下記に該当する場合には、検定料免除の特別措置を行います。

検定料の免除を希望される志願者は、出願前に必ず学生支援部入試課までご連絡ください。

大規模自然災害により災害救助法適用地域において被災し、次のいずれかに該当する方

1. 主たる学資負担者が所有する居住家屋等が全壊（全焼、全流失含む。）、大規模半壊、半壊（半焼含む。）、浸水等の被害を受けた場合
2. 主たる学資負担者が当該災害により死亡又は行方不明の場合

※免除の対象及び期間について

本件は、災害発生後に実施される入学試験が対象となります。期間については、原則、当該災害が発生した年度及び翌年度の2年間で対象となります。詳細は下記問い合わせ先で確認してください。

検定料免除に関する問い合わせ先

山口大学学生支援部入試課 電話（083）933－5153

学生寮及びアパート等

本学には、吉田、小串（医学部）、常盤（工学部・情報学部）の3つのキャンパスがあります。工学部・情報学部の新入生も、入学後1年間は吉田キャンパスで修学することになりますので、ここでは吉田キャンパスの学生寮及び吉田キャンパス周辺のアパート等についてご案内します。

1. 学 生 寮

令和9年4月からの入寮者募集を下記のとおり予定しています。なお、令和9年度学生寮募集要項（新入生用）の公開は令和9年1月上旬を予定しています。

また、今後の学生寮の詳細情報については、ホームページで随時ご案内します。

URL：<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~st-support/st-support-center/tebiki/gaku-seikatsu-useful-information/residence/gakuseiryoku/index.html>

「山口大学ホームページ（受験生の方）」→「キャンパスライフを知りたい」→「学生寮」へ進んでください。



学生寮
QRコード

(1) 募集人員等

対 象 学 生	学 部 新 入 生			
寮 名 等	吉田寮1号棟（男子）	吉田寮2号棟（男子）	^{ふしの} 樫野寮1号棟（女子）	^{ふしの} 樫野寮2号棟（女子）
所 在 地	山口市吉田 1677 - 1			
居 室	1人部屋、約 14㎡	1人部屋、約 18㎡	1人部屋、約 14㎡	1人部屋、約 18㎡
収 容 定 員	176 人	130 人	89 人	69 人
募 集 人 員	未定	未定	未定	未定
寄 宿 料（月額）	19,800 円	29,800 円	19,800 円	29,800 円
入寮費（入寮時のみ）	20,000 円	20,000 円	20,000 円	20,000 円
諸 経 費（月額）	500 円	500 円	500 円	500 円
居 室 設 備	バス、トイレ、ミニキッチン、エアコン、クローゼット、下駄箱、吊り本棚、机、ベッド、照明器具（蛍光灯）、カーテンレール（2連）			

(2) 申請方法等

ア. 申請期間

令和9年度学生寮募集要項（新入生用）において公表します。

※申請期間が試験日及び合格発表の期日と前後する場合がありますので、公表後早めにご確認ください。

イ. 募集要項

「山口大学ホームページ（受験生の方）」→「キャンパスライフを知りたい」→「学生寮」に掲載します。（令和9年1月上旬掲載予定）

ウ. 選考方法

入寮の選考は、保護者等の経済的困窮度（所得や家庭状況等）等を総合的に判断します。

エ. 入寮選考結果発表

令和9年度学生寮募集要項（新入生用）において発表方法等を公表します。

(3) 問い合わせ先

山口大学学生支援部学生支援課 学生支援係 電話（083）933 - 5074・5152

2. アパート等紹介

本学（吉田キャンパス）周辺には多数のアパート等があり、これらの紹介は、山口大学生生活協同組合や不動産業者等で行っています。

(1) 紹介物件

家賃は地域、建物の築年数、設備等により異なりますが、吉田地区においてはおおむね下記のとおりになっています。

6帖（一部共同） 10,000 円～ 30,000 円程度

各室バス・トイレ・キッチン付 17,000 円～ 50,000 円程度

なお、敷金は0～2ヶ月分、礼金は0～1ヶ月分、仲介手数料は0～1ヶ月分+消費税の家賃相当額を必要とします。

(2) 問い合わせ先

山口大学生生活協同組合 電話（083）933 - 0615

問い合わせ窓口

1. 総合型選抜に関する問い合わせ先

問 い 合 わ せ 先	電 話	所 在 地	
山口大学アドミッションセンター (入試課)	(083) 933 - 5153	〒 753 - 8511	山口市吉田 1677 - 1

2. 教育内容に関する問い合わせ先

問 い 合 わ せ 先	電 話	所 在 地	
人 文 学 部 入試担当係	(083) 933 - 5209	〒 753 - 8540	山口市吉田 1677 - 1
教 育 学 部 ”	(083) 933 - 5307	〒 753 - 8513	
経 済 学 部 ”	(083) 933 - 5506	〒 753 - 8514	
理 学 部 ”	(083) 933 - 5210	〒 753 - 8512	
工 学 部 ”	(0836) 85 - 9009	〒 755 - 8611	宇部市常盤台 2 - 16 - 1
情 報 学 部 ”			
国際総合科学部 ”	(083) 933 - 5288	〒 753 - 8541	山口市吉田 1677 - 1

3. その他

奨学金制度に関する質問	学生支援課	(083) 933 - 5165
入学料及び授業料の免除に関する質問	学生支援課	(083) 933 - 5611
授業料の納付方法に関する質問	財 務 課	(083) 933 - 5098
学生寮に関する質問	学生支援課	(083) 933 - 5074

志望理由書

あなたが山口大学の学部・学科等を志願する理由、将来の目標や学びたいこと、また、それに向けて、具体的に
取り組んでいることや努力していることなどについて記入してください。

受験番号

※

見
本

※欄は記入しないでください。

出願登録番号
(11 ケタ)

↑宛名ラベルに表示されている出願登録番号（11 ケタ）
と同じ数字を記入してください。

提出が必要な志願者（※提出対象者）

- ・調査書の発行ができない方
- ・高等学校卒業後 5 年以上経過した方

活動実績報告書

※提出対象者は、募集要項 12 ページ～(3)出願書類等の「5 活動実績報告書」を参照のこと

独自の学習・研究経験、国際交流活動、社会活動、コンクールなどへの取り組み、職務経験、資格の取得など、近年あなたが熱心に取り組んだことや達成したことについて、3 項目以内で記入してください。活動した成果や取得した資格等を示すもの（認定書、表彰状、各種資格証明書等、いずれもコピーを添付、A 4 判とすること）がある場合は、資料番号欄に記入した番号を付し、添付してください。

【チェック欄】以下のいずれかにチェックしてください

☐ 以下のとおり報告します

☐ 該当する活動はありません

（注）「第 1 次選抜の加点評価項目表」の項目にない資格、活動を記入してください。

	受験番号	※
活動実績 1		資料番号
名 称		
活動の時期		
概要の説明		
活動実績 2		資料番号
名 称		
活動の時期		
概要の説明		
活動実績 3		資料番号
名 称		
活動の時期		
概要の説明		

出願登録番号
(11 ケタ)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※欄は記入しないでください。

↑宛名ラベルに表示されている出願登録番号（11 ケタ）
と同じ数字を記入してください。

交通のご案内

ACCESS MAP

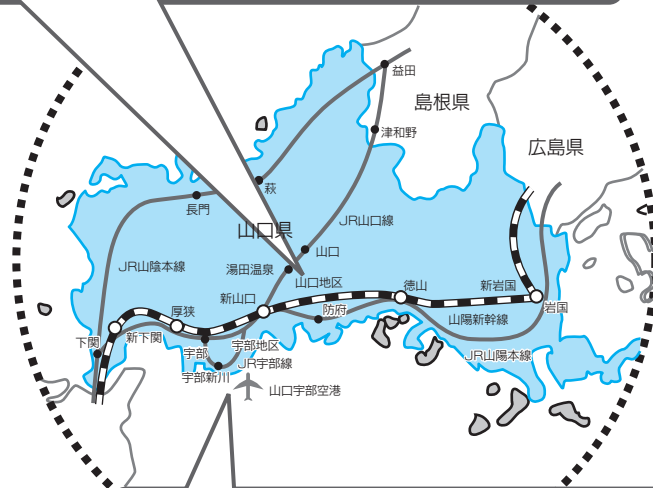


吉田キャンパス

■人文学部・教育学部・経済学部
理学部・国際総合科学部

山口市吉田1677-1

- JR新山口駅からJR山口線「湯田温泉駅」下車。
JR湯田温泉駅入口バス停からJRバス山口大学行「山口大学」下車。
(徒歩の場合、JR湯田温泉駅から約25分。)
- JR新山口駅北口(在来線口)から防長バス「県庁前(平川経由)」行「山口大学前」下車。徒歩約3分。
- JR新山口駅から車で約30分。
- 湯田温泉スマートインターチェンジから車で10分。

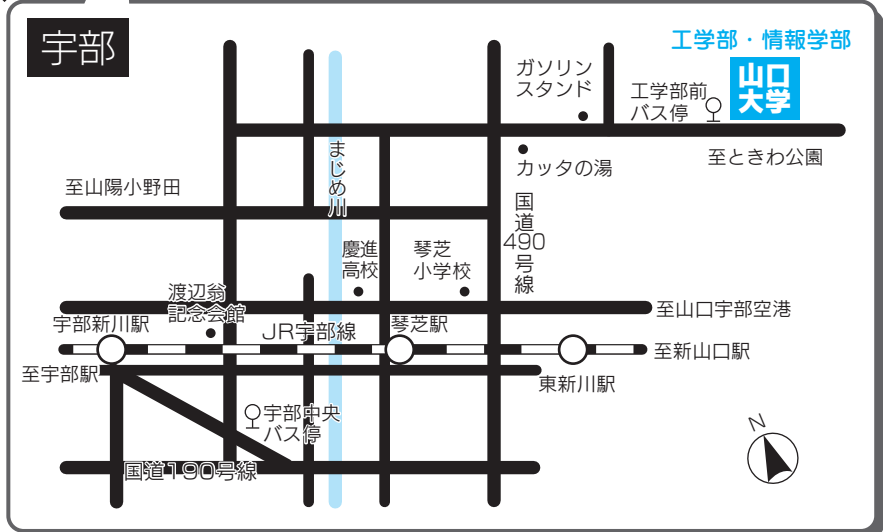


常盤キャンパス

■工学部・情報学部

宇部市常盤台2丁目16番1号

- JR新山口駅またはJR山陽本線宇部駅からJR宇部線「宇部新川駅」下車。
駅前バス停から宇部市営バス(下記のいずれか)に乗り、「工学部前」下車。徒歩約3分。
・参宮通經由ひらき台行
・参宮通經由ひらき台・交通局行
・めぐりな(東部市内循環線)
・萩原循環線
- 山口宇部空港から車で約15分。



試験の前日及び当日の自動車・バイクの構内駐車について

吉田キャンパス：試験前日及び当日の自動車・バイクの構内駐車はご遠慮ください。公共交通機関を利用してください。

常盤キャンパス：駐車可能台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

また、試験当日は、送迎のための一時的な乗降のみ可能です。



〒 753-8511 山口市吉田 1677-1
TEL : (083) 933-5153 FAX : (083) 933-5041
1677-1 Yoshida, Yamaguchi-shi, Yamaguchi 753-8511, Japan
<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/>
nyushi@yamaguchi-u.ac.jp

各学部・学科等の案内については、下記のホームページを参照してください。



【人文学部】
<https://www.hmt.yamaguchi-u.ac.jp/>



【教育学部】
<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/edu/>



【経済学部】
<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/econo/>



【理学部】
<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/sci/>



【工学部】
<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/eng/>



【情報学部】
<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/informatics/>



【国際総合科学部】
<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/gss/>